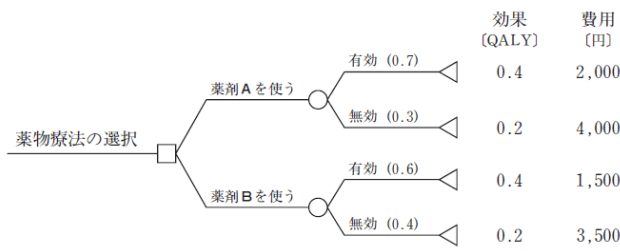


102-149

問題文



- 1. 目的や状況に応じて条件設定ができる。
- 2. 臨床研究と一体化してデータを収集する。
- 3. モデルの構築やデータ収集においてバイアスは発生しない。
- 4. 仮定に基づくシミュレーションを行う。
- 5. 臨床試験と同程度の時間と費用を要する。

解答

1, 4

解説

薬剤経済学的な費用対効果の分析です。1 QALY=QOL 1 で 1 年生きた場合のことです。QALY を、質調整生存年 と呼びます。臨床試験である程度のデータを得たのちモデル構築して結果を分析することによりある薬物療法の費用対効果を評価します。具体的には1QALY 伸ばすために、いくらかかるかを計算した上で、妥当な値かどうかを判断します。

従って、臨床研究と一体化してデータを収集するわけではありません。また、モデル構築やデータ収集において、偏った仮定や偏った情報収集を行ってしまう可能性があります。とはいえ実際に治験するわけではないので、一般的に、臨床試験よりも時間や費用は少なくすみます。

以上をふまえると、選択肢 2,3,5 が誤りです。
従って正解は 1,4 です。